

JICA 海外協力隊大学連携派遣 ウズベキスタン共和国参加者募集



本学は、JICA 海外協力隊連携派遣制度により、ウズベキスタン共和国に海外協力隊として長期派遣を希望する人を募集しています。

ウズベキスタンは旧ソ連時代に始まった大規模灌漑農業の影響でアラル海が縮小し、地球規模の環境問題として知られています。現在も農業が盛んで、地方では農業が主要な産業です。しかし、新しい農業技術を伝える農業普及員養成のためのプログラムがありません。そこで、本学の姉妹校であるサマルカンドアグロイノベーション大学とカラカルパクスタン農業大学にてプログラムを構築するためのボランティアを募集しています。

派遣先：サマルカンドアグロイノベーション大学およびカラカルパクスタン農業大学

業務内容：サマルカンドアグロイノベーション大学での節水型果樹栽培もしくはカラカルパクスタン農業大学での農家に節水型農業の必要性和収量を上げるための農業普及員育成プログラム構築に携わる

資格：大学卒業以上、農学系の知識のある人

費用：航空券、滞在費は JICA から支給される

期間：2026 年 4 月以降 2 年間（4 月から 6 月に日本で語学含む派遣前研修予定）および 2026 年 9 月以降の 1 か月から 5 か月間

応募方法：応募書類に記入の上、府中地区学生支援室に提出

応募締切：2025 年 9 月 19 日

面接：2025 年 9 月 25 日 15 時～

応募書類の提出先：府中地区事務部学生支援室 小宮宛

a-kygk1@occ.tuat.ac.jp(〇のところに@を入れてください)

選考方法：本学では、応募書類と面接により選考を行います。

選考された者は、派遣候補者として JICA へ推薦されます。

後日、JICA による面接、健康判断等を経て、正式に派遣者として決定されます。

